

生徒指導だより

～自ら学び、たくましく生き抜く子ども～

令和2年6月10日

第2号

二本松市立小浜小学校

生徒指導部(文責:服部陽子)

生活リズムを整え、心も体も元気に！

臨時休業による子どもたちの生活や学習への影響は全国的に課題で、メディアに関しては特に大きいと言われています。本校では3年生以上の児童を対象にアンケート調査による実態把握を行いました。

その結果、「平日のゲームやSNS、ネット(動画を含む)の利用時間が2時間以上」、「それらをやっている時間が9時過ぎまで」、「友だちと交流(通信)している」、「課金したことがある」と回答した児童が、右のグラフのように3～5割もいました。

さらに、「家の人と約束を決めている」、「約束を守っている」は約8割で、約2割は「約束を決めていない」、また、「守っていない」ということでした。

メディア等が与える影響は、年齢が低いほど大きいということは以前から危惧されているところで、身体的・精神的・学業面・経済面・交友関係など多くの課題につながっています。さらに、これらのゲーム等にはどんどんやりたくなる、やめられなくなるような仕掛けが施されているので、一端、やるとはまってしまい、抜け出すのには相当の苦労が必要となるそうです。

お子さんはいかがでしょう。大切なお子さんのために、今、もう一度、現状をしっかりと把握し、一緒に約束事を確認し、心身ともに健全に成長できるように話し合っていたいただきたいと思います。やらせる、やらせないという視点だけではなく、正しく選択して使う力、判断する力、それを実践する力を育てることが必要だと思います。

今、自分にとって大切なことは何か、今、やるべきことは何か、そのために時間をどう使うか……。昨日、学校でも指導したところです。

